



宇美中学校
学校通信第 10 号

くすのき

もり

楠乃社

令和 7 年 1 2 月 2 4 日発行

校長 河野 徹

(文責：教頭 梶原 博文)

あなたにとってどういう一年でしたか 目標は達成できましたか 成長できたことを振り返り、新たな目標を ～2学期終業式～

今日で2学期、そして令和7年の学校生活が終わりました。2学期、そして今年一年は、あなたにとってどのような学期、一年でしたか。終業式では、生徒代表として1年3組野中綾乃（のなか あやの）さん、2年3組川平遥喜（かわひら はるき）さん、3年3組宮原瑠花（みやはら るか）さん、生徒会は成富美晴（なりとみ みはる）さんが、2学期を振り返り、3学期や新年に向けての力強い抱負を述べました。河野校長先生からは、「人間性」についての話がありました。



【2学期終業式の様子】

「人の小過(しょうか)を責めず、人の陰私(いんし)もあばかず、人の旧悪(きゅうあく)を念(おも)わず」これは、中国の明の時代の「菜根譚(さいこんたん)」という本の中にある言葉です。「人の小過を責めず」は人の小さな失敗を責めないということです。人は失敗をします。失敗から多くのことを学びます。失敗は恥ずかしいことではありません。「人の陰私もあばかず」は、人の隠し事を暴かないようにしようということです。誰にも触れてほしくないことがあります。それなのに、すぐに他人に言う人がいます。「人の旧悪を念わず」は、昔の失敗ごとをねちねちほじくり返さないということです。(中略)2学期も多くの生徒指導事案がありましたが、多くの場合次につながる失敗だったと思います。まずは素直に失敗を認めましょう。そしてしっかり叱られてください。先生たちはその行為を怒っているだけです。根底にはみんなを大事にしたいという思いがあります。

校則を見直すのは何のため ～校則見直し・検討委員会の実施～

12月9日(火)に、校長、教頭、主幹教諭、生徒指導主事、生徒指導担当教員、生徒会担当教員、生徒会役員、PTAの皆様(本会藤田さん・長崎さん)で、校則見直しの話し合いをしました。校則の見直しは、令和6年度3学期から始まりました。全校生徒にアンケートをとり、それを基に各学級で話し合い、生徒会役員でまとめ、職員会議、校則検討委員会を経て、何度も生徒と教師、PTAで検討して新しい校則にたどり着いています。校則の見直しを通して、皆さんに付けてほしい力は次のものです。

【校則見直しを通して、宇美中生に付けてほしい力】

- 自分たちで考え、決めたことを責任をもって守る力
- 様々な場面に応じて、どのような選択がふさわしいかを考え、行動に移す力
- 決まりやルールを守る大切さについて考え、今の時代の流れに対応する力



【校則見直しの経緯】

- (令和6年度)○3学期…「通学靴・靴下」の見直し
- (令和7年度)○1学期…「服装(ベルト・防寒着)」の見直し
- 2学期…「頭髪・眉等」の見直し

昨年度、通学靴や靴下の選択の幅が広がり、本年度は服装と頭髪・眉の見直しを行いました。校則が見直され、選択の幅が広がったということは、校則がゆるくなって楽になったということではなく、自分で考えて判断し、その自

分の判断や行動に責任をもつということです。自分で判断するといっても、好き勝手にいいわけでもありません。その判断の根拠となるものは、「清潔感のある身だしなみであるか」「身だしなみを整える目的であるかどうか」であり、「おしゃれをしたいから」や「ただ目立ちたいから」ではありません。だから、「これどうなのかなあ」と思ったときには、友達や先生、家族に相談してほしいなあと思います。

本日、全校生徒には、生徒会から2学期に全校生徒で見直した校則についての説明がありました。本日説明した内容につきましては、宇美中学校のホームページにも掲載しています(右上の二次元コードを読み取られてください)ので、保護者の皆様もご確認ください。この内容は3学期からの実施となります。

関西で「変想結前」次のステージをめざして ～2学年修学旅行～

12月4日（木）～6日（土）の二泊三日で、京都・奈良での修学旅行を実施しました。「変想結前」という学年スローガンの基、最上級生という次のステップへ進むための準備をして、新たな学年に生まれ変わることを学年全体でめざした修学旅行でした。時間を守る力や周りを見ながら行動する力が付き、大きな成長を感じましたが、目標であった最上級生としての自主的な行動に課題が残ったようです。生徒会役員、部活動と2学年が3年生からのバトンを受け継ぎ、宇美中学校の顔となっています。2年生の3学期は、よく「3年0学期」とも言われます。あと数ヶ月もすれば、最上級生となり、2学年全員が宇美中学校のリーダー的存在となります。誰かがやってくれるだろうではなく、みんなのために「自分がやるんだ」という気持ちをもって、学校生活を送ってください。どの学校行事もそうですが、終わってからの日常が大切です。修学旅行で身に付けた力をさらに伸ばし、日常の学校生活や毎日の授業に生かしましょう。その姿が変わってこそ、修学旅行が成功といえるのではないのでしょうか。2年生の更なる成長に期待しています。



【修学旅行での2年生の様子(上下)】



相手を思いやり、相手も自分も大切にできる宇美中生に～人権集会～

12月10日（水）に、一斉放送と教室での対話活動による宇美人権集会を開きました。この12月10日は、人権について世界で考える日として「世界人権デー」に定められている日です。今回は、「思いやり」をテーマに、ACジャパンのCMを2本（「見える気持ちに」「思いやり算」）視聴し、感じたことを班での対話活動で伝え合いました。伝える側は素直に思ったことを伝え、聞く側は相手の話を遮らずに最後まで聞くことを意識して、人権感覚と共に、他者理解・自己理解にもつながることをめざしています。皆さんには、相手も自分も大切にできるようになってほしいです。



【人権集会で対話活動を行う様子】

部長会による元気なあいさつと募金活動 ～赤い羽根共同募金～

「赤い羽根共同募金」活動の第3弾として、宇美中学校の部長会による募金活動を12月15日（月）～12月19日（金）で行いました。部長たちが元気のよいあいさつと共に、しっかりと募金活動を行いました。そして、12月23日（火）に、宇美町社会福祉協議会の方にお越しいただき、みんなで集めた募金「27,474円」を渡しました。今年も、災害が多く起こりました。みんなの善意が様々な場で生かされ、困っている方々の力になってほしいです。

今回、募金活動を行ったリーダーの皆さん、そして3回の募金活動に賛同し、募金をした皆さん、本当にありがとうございました。これからも、チーム宇美中で一致団結して、力を合わせましょう。



【赤い羽根共同募金活動の様子(左)と代表生徒で募金を渡す様子(右)】